



学習アプリ「キュビナ」の使い方

子どものiPadには、Qubina(キュビナ)という学習用アプリが入っています。このアプリの算数での有効な活用方法と特色について紹介させていただきます。

- ① 授業で行っている単元を、キュビナで学習する
- ② BやCの結果になったら、やり直してAを目指す
- ③ 全てAになり、先に進めそうだったらその単元の系統の上学年のものに挑戦する
- ④ 年度末などのまとめテストで、できなかった問題の単元を復習する

○算数の教科書と対応した学習内容

キュビナは教科書と完全対応しており小1～中3までの内容を網羅しています。キュビナの結果がBやCになった場合は、学習内容に取りこぼしがあるということなので、間違えた問題を解き直すことで学年の学習内容をしっかりとおさえることができます。

また、算数科の内容は螺旋階段のような構造になっており、各学年で学習する内容の上位にあたる内容が次の学年にも用意されています。（「表とグラフ」は1年生～6年生まで毎年あります。）キュビナでやってみたら、全部簡単だったという場合は、次の学年の内容に自主的に進むことができます。

算数の系統性は分かりづらいものもあるので、次にどれをしたらいいのかわからない場合は、岩本までご連絡ください。

○予習的な学習、新しい知識の獲得に向いている

説明やヒントがあり、図やイラストも見やすいので、初めての内容でも予習しやすいです。既習状態で授業を受けると、「キュビナでやってるから知ってる！」と、自信もてるし、授業内容をより深く理解することができます。

特に、「長さ」「かさ」「時刻と時間」のような、新しい知識を獲得するような内容は、キュビナでの学習が適しています。紙のプリントやドリルでの宿題だと、次の日に丸付けをしてもらってもし×だった場合、何をどう間違えたからどう答えたらよいかのフィードバックを得られにくいですが、アプリだと子どもの答えに対して、すぐに、○か×かのリアクションを返してくれます。

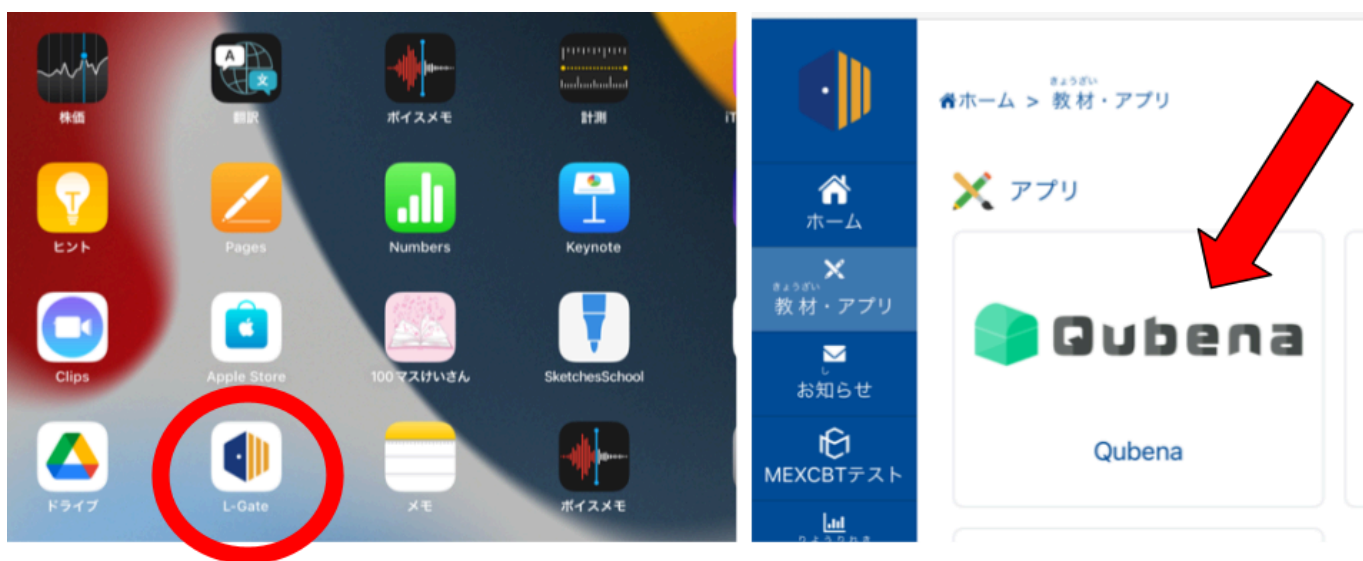
（一方で、とにかく反復練習が必要な筆算や暗算、漢字などは、紙がおすすめです。手軽にたくさん取り組め、努力の跡が目に見える形で残るからです。）

○文章問題が多い。何度でも学習し直せる。

これは、どちらも紙の宿題ではカバーしにくいものです。

デジタルなので、文章問題や図を伴った問題がたくさん出てきます。文章問題を解くこと、数量関係を図で理解することは、多くの子が課題とするところです。

度末のまとめテストなどで、「あなたは時間と長さで間違えがあるからもう一度キュビナで勉強しましょう」と伝えたと、教材を改めて用意しなくてもすぐに学習のし直しができるのもよい点です。



【iPadの「L-gate」からQubinaが利用できます】

もちろんいくつか課題もありますが、上手に活用すれば、子どものセルフラーニングを助けるよいアプリになります。

学校の授業時間にも使っていきますので、ぜひご家庭でもご利用ください。

キュビナがセルフラーニングに向いているとは言っても、まだ小学2年生だと文章が読めなかったり意味が分からなかったりと、一人では取り組めない場合もあります。

発達段階とそれぞれの子どもの実態に合わせて段階的にセルフラーニングに向かっていくことが大切です。低学年の間は、そばに寄り添い、必要な時にサポートをしてあげて、子どもが安心して学習に取り組めるようにしたほうがよいです。

ぜひご協力よろしく願いいたします。

次の算数の学習内容は、「キュビナ→算数→小2→2 時こくと時間」で学習することができます。